



2024年4月18日

鹿沼市
株式会社 NTT ドコモ
NTT コミュニケーションズ株式会社
株式会社カキヌマ

栃木県鹿沼市、ドコモ、NTT Com、カキヌマ、 DX でやさしいまちづくりに向けた連携協定を締結

栃木県鹿沼市(以下 鹿沼市)、株式会社 NTT ドコモ(以下 ドコモ)、NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)および株式会社カキヌマ(以下 カキヌマ)は、令和6年4月18日に「DX でやさしいまちづくりに向けた連携協定」(以下 本協定)を締結します。

時代・環境の変化に対応し、市民協働や地域の個性・資源の活用を促進をめざし、「市民サービス向上」、「データ利活用と情報発信」、「地域資源の活用と保全」、「防災・災害対策」などのテーマに取り組めます。

1. 背景

本格的な人口減少社会を迎え、複雑化・多様化する市民ニーズや、新型コロナウイルス感染症の流行を契機とした新たな生活様式、そしてデジタル化の推進など、激しく変化する時代に柔軟に対応できる持続可能なまちづくりが求められています。

鹿沼市では、「花と緑と清流のまち 笑顔あふれるやさしいまち」をまちの将来像に掲げ、デジタルの力を活用した暮らしの質の向上、新たな価値の創出に向けた各種施策に取り組んでいます。

一方、NTT ドコモは、デジタルデバイド[※]解消に向けたスマホ教室やモバイル通信を活用した災害対策などを通して地方創生に、NTT Com は、市民生活の利便性向上に向けた地域独自のプラットフォーム構築や ICT を活用した行政の働き方改革に、カキヌマは地域の ICT サポート拠点としてデジタル活用支援事業への参画などを通してデジタル格差の解消に取り組んできました。

本協定では、ドコモ、NTT Com、カキヌマが今までつちかった技術や知見を最大限に活用し、鹿沼市の持続可能なまちづくりをさらに推進することを目的としています。

2. 連携事項

本協定における連携事項として、以下の6項目を中心に取り組みます。

- (1) デジタル技術を活用した市民サービス向上に関すること
 - ・市民がデジタル技術を理解し適切に活用できるよう、市民向けのスマホ教室などの機会を拡充し、一人ひとりがデジタルを活用できる環境整備を図ります。
- (2) 全庁的な業務改革およびデータ利活用の推進に関すること
 - ・DX やデータ利活用に関する知識やスキルの習得に向け、研修開催や情報提供などを通じて、鹿沼市役所におけるデジタル人材育成を推進します。
 - ・鹿沼市および地域事業者向けに、ビッグデータの収集・分析などを可能とするシステムを構築し、市民・観光客のサービス向上をめざします。
- (3) 地域資源の活用と保全に関すること
 - ・南摩ダム周辺施設に関する観光振興および環境保全の両立に向け、デジタル技術の活用をめざします。
- (4) 観光振興および移住定住促進に向けた情報発信に関すること
 - ・鹿沼市の観光や情報を効率的に観光客及び移住希望者へ届ける仕組みの構築をめざします。
 - ・dポイントクラブの会員情報を基盤としたドコモのアセットを活用した情報発信の拡充などを図ります。
- (5) 防災、災害対策に関すること
 - ・避難所における通信手段の確保や携帯電話の充電設備の提供等を行います。
 - ・市職員向けの防災訓練や子どもたちなどへの防災教室を開催します。
- (6) その他、地域の活性化に関すること
 - ・市民と事業者の両面から地域のキャッシュレスを推進します。
 - ・「ドコモショップ in ショップ」の開設などにより、地域事業者と来店者をつなげ、地産地消を促す仕組みづくりに取り組みます。

3. 今後の展開

持続可能でやさしいまちづくりの実現をめざし、今後は、デジタル技術をあらゆる場面や様々な事業での活用を図ります。

※：デジタルデバイドとは、インターネットなどを利用できる者と利用できない者との間に生じる情報格差をさします。